



吉永邦治展

- ◆開館時間 午前9時～午後5時[入館は午後4時30分まで]
- ◆休館日 毎週月曜日[但し10月14日、11月4日(月・祝)は開館、両日とも翌日休館]
- ◆入館料 大 人 500円 高・大生 300円 小・中生 200円

※20名以上は団体割引があります。
※ココロカード・のびのびバスポートが利用出来ます。

■交通

- [バスをご利用の方]
- ・ 神姫バス三ノ宮バスターミナルより高速バス[三ノ宮・福良線](約70分)
「陸の港西淡」下車、タクシーで約5分。または、「陸の港西淡」より市バス
「らんらんバス」(約5分)「玉青館前」下車、徒歩で約8分。
 - ・ 高速舞子バス停より高速バス「舞子・福良線」(約60分)「志知」下車、タクシーで約5分。

[お車の方]

- ・ 神戸淡路鳴門自動車道「西淡・三原I.C.」より約5分。

画家・吉永邦治は、仏教とともに東洋各地に広まった『飛天』、その美しさに魅せられ、その造形芸術を求めて、インドをはじめ、中近東、シルクロード、東南アジア、中国、そして日本と各地の遺跡・寺院などを訪れ、研究を重ね、描き続けて来ました。

厳しい自然環境のなかであって、それらと対峙し、大地とともに生きている多様な民、遥かなるユーラシア大陸のなつかしい風土・風俗を、雄大なスケールで描いた、輝く織物のような彼の作品には、技に託した創作への思いと、豊かなロマンがあふれています。

本展では、20年あまりの年月をかけて、このほどやっと完成に至った大作で、邦治曼荼羅を草創させる世界が十二分に感じとられる「土曜日の光景」<チベット高原にて>をはじめ、近年、釈迦を慕って弟子となった十人の高弟の足跡を記すとともに、その風貌、おまかげを鉛筆で一筆ずつ描きおこし、釈迦の心の宇宙観をも連想させる「釈迦十大弟子」、また、さわやかな天空に、天衣をはずませ、やさしさあふれる楽を奏する最新作「香彩虹奏飛天」などを展示します。

これらの秀作に加え、創作の背景ともいえる、旅のなかでの現地スケッチや素描作品なども同時に紹介します。

吉永邦治からうみだされる、ざっくりとした肌あいをもった独自の作品の数々に、東洋の世界をご覧いただければ幸いです。



■ギャラリートーク

講師 吉永邦治 先生

10月 6日(日) 午後2時～

11月10日(日) 午後2時～

※参加費は無料です。(ただし、入館料は必要)

表:「土曜日の光景」(チベット高原にて)油彩 2012年

裏:左下「花の間」(部分)油彩 2007年

上「香彩虹奏飛天」(部分)油彩 2013年

題字:洲之内徹(現代画廊「吉永邦治展」より)

吉永邦治展



KUNIHARU YOSHINAGA'S WORLD

東洋へのまなざし



プロフィール

1944年 鹿児島県に生まれる。

1965年 桑沢デザイン研究所を卒業。69年ドイツに遊学し、陶芸、建築、西洋美術等をロッセ・ロッシェリー氏に学ぶ。

その後、高野山大学に入学。山本智教博士に東洋美術、仏教・密教芸術などを学ぶ。高野山大学文学部仏教学科卒業。

絵画は、山口長男氏に師事。

1975年『気まぐれ美術館』の著者、洲之内徹氏と出会い、彼が経営する現代画廊で東洋各地を旅した作品展を開き、その度に多大なる影響を受けた。彼はこの頃の吉永について、インド・アフガニスタンなどの旅の様子を絵とともに、『帰りたい風景』に記している。

過去には国展会などにも出品していたが、現在は団体展から離れ、国内外各地での個展・展覧会に重点をおいて発表し続けている。

ライフワークである飛天については、2002年1月1日の日本経済新聞文化欄に「初春、飛天と空へ」というタイトルで掲載された。また、飛天の変遷やシルクロードの旅についての講演も各地で行っている。

主な展覧会:高梁市成羽美術館・大阪大谷大学博物館・田中一村記念美術館・高野山霊宝館・横浜テラノホール

個 展:ブリュッセル・ローレイ画廊(日本大使館後援)・伊勢丹新宿店・現代画廊・阪急うめだ本店・高宮画廊・広島福屋・大丸博多店・鹿児島山形屋ほか

主な著書:飛天の道(小学館)・東洋の造形(理工学社)・吉永邦治素描作品集1~3(京都書院)・風貌 釈迦十大弟子(向陽書房)ほか

■交通アクセス

【バスをご利用の方】

- ・神姫バス三ノ宮バスターミナルより高速バス「三ノ宮・福良線」(約70分)「陸の港西淡」下車、タクシーで約5分。または、「陸の港西淡」より市バス「らんらんバス」(約5分)「玉青館前」下車、徒歩で約8分。
- ・高速舞子バス停より高速バス「舞子・福良線」(約60分)「志知」下車、タクシーで約5分。

【お車の方】

- ・神戸淡路鳴門自動車道「西淡・三原 I.C.」より約5分。



〒656-0314
兵庫県南あわじ市松帆西路1137-1
☎0799(36)2314

GYOKUSEI MUSEUM 玉青館
南あわじ市滝川記念美術館